

第6回 旧北上川河口かわまちづくり検討会

会 議 次 第

日 時：平成30年7月12日（木）

会 議：10：00～12：00

場 所：石巻市役所 防災センター2階 多目的ホール

司 会：北上川下流河川事務所副所長

1. 開 会

2. 開会の挨拶

石巻市長

3. 議 事

(1) 「第5回旧北上川河口かわまちづくり検討会」の結果に基づく地区別別ワーキング検討概要、及び平成29年度に開催された市民部会で上がった意見について

資料1

(2) 「第5回旧北上川河口かわまちづくり検討会」以降の検討概要

資料2

(3) 今後の進め方について

資料3

(4) その他

4. 川開き祭りの紹介

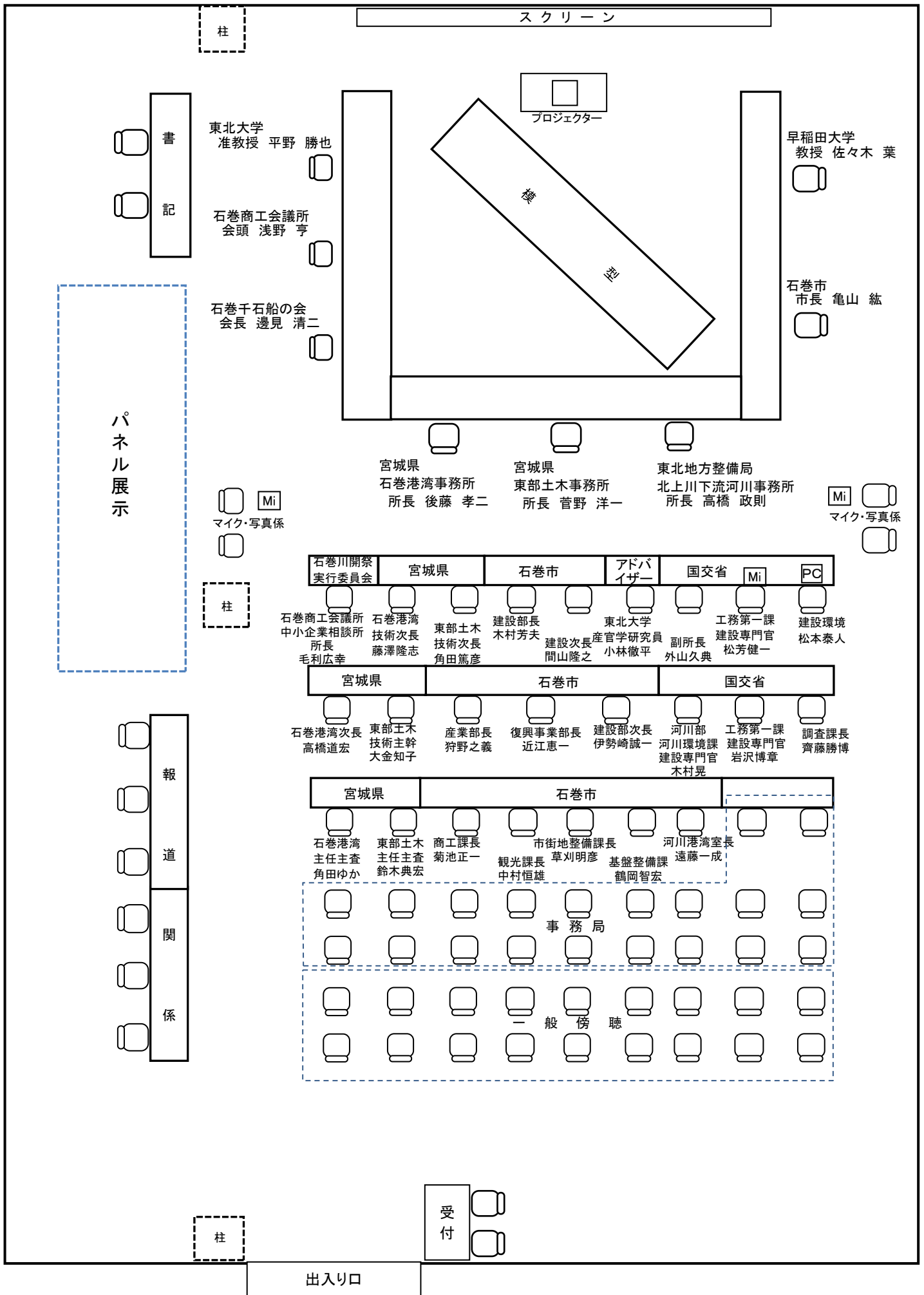
石巻川開き祭り実行委員会

5. 閉会の挨拶

東北地方整備局 北上川下流河川事務所長

6. 閉 会

第6回 旧北上川河口かわまちづくり検討会 配席図



旧北上川河口かわまちづくり検討会 規約

第1条（趣旨）

この規約は、「旧北上川河口かわまちづくり検討会」（以下「検討会」という）の設置について必要な事項を定める。

第2条（目的）

東日本大震災により甚大な被害が発生した旧北上川河口において、被災地の安全・安心を確保した一日も早い復旧・復興を成し遂げるため、河川津波対策を踏まえた河川堤防・護岸等の河川管理施設の復旧が不可欠かつ急務である。

一方、石巻市は、震災前に構想していた「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画（平成23年2月策定）」について、震災復興基本計画に基づく堤防沿いの土地利用等を踏まえ平成25年3月に一部見直しを行い、新たな河川堤防や護岸等を生かしたまちづくりを行う計画である。

本検討会は、旧北上川河口の新たな河川堤防の整備を進めるにあたり、安全・安心に加え、人々が憩える空間を創造する水辺を活かした「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」と連携し、石巻の歴史・文化、地域の特性などを踏まえたかわまちづくりや、景観に配慮する方法について指導、助言を頂くことを目的として、設立するものである。

第3条（組織等）

検討会は、東北地方整備局北上川下流河川事務所が設置する。

- 2 検討会の委員は、別紙のとおりとする。
- 3 検討会の委員は、東北地方整備局北上川下流河川事務所長が委嘱する。
- 4 検討会は、委員の総数の二分の一以上の出席をもって成立する。
- 5 委員の任期は、原則として2年とし、再任は妨げない。
- 6 検討会の会議にあたっては、必要に応じて委員以外の出席を求め、助言等を求めることができる。

第4条（座長）

検討会に座長を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 検討会は座長が招集する。
- 3 座長は、検討会の運営と進行を総括する。

第5条（事務局）

検討会の事務局は、東北地方整備局北上川下流河川事務所調査課、石巻市建設部河川港湾室に置く。

第6条（ワーキング）

検討会は、専門的な事項を検討するため、必要に応じて、検討会の下部組織としてワーキングを設置する。

2 ワーキングの運営については、検討会の運営に準じるものとする。

第7条（規約の改正）

本規約の改正は、委員総数の三分の二以上の同意を得てこれを行う。

第8条（検討会の公開）

本検討会は、原則公開とする。

第9条（雑則）

この規約に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が検討会に諮って定める。

附則（施行期日）

この規約は、平成25年7月22日より施行する。

- ・平成27年8月5日一部改正
- ・平成29年7月7日一部改正

旧北上川河口かわまちづくり検討会 委員名簿

50 音順、敬称略

| | 氏名 | 所属 | 備考 |
|---|--------------------|-------------------------|----|
| 1 | あさの とおる 浅野 亨 | 石巻商工会議所 会頭 | |
| 2 | かめやま ひろし 亀山 紘 | 石巻市長 | |
| 3 | かんの よういち 菅野 洋一 | 宮城県 東部土木事務所長 | |
| 4 | ごとう こうじ 後藤 孝二 | 宮城県 石巻港湾事務所長 | |
| 5 | ささき よう 佐々木 葉 | 早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 教授 | 座長 |
| 6 | たかはし まさのり 高橋 政則 | 東北地方整備局 北上川下流河川事務所長 | |
| 7 | たなか ひとし 田中 仁 | 東北大学大学院 工学研究科 教授 | |
| 8 | ひらの かつや 平野 勝也 | 東北大学 災害科学国際研究所 准教授 | |
| 9 | へんみ せいじ 邊見 清二 | 石巻千石船の会 会長 | |